

條ウル神古墳と條の古墳

— 調査成果と保存活用のこれから —



條ウル神古墳の横穴式石室と石棺

開催期間

2026年11月1日(日)～12月28日(月)

会場

御所市文化財展示室

開室時間

9時～17時

会期中無休

観覧無料

條ウル神古墳と條の古墳

— 調査成果と保存活用のこれから —

なぜ、いま條ウル神古墳なのか

條ウル神古墳は、早くから大きな古墳と石室の存在が知られていましたが、2002年以降の調査によって、巨大な横穴式石室と家形石棺、長軸60～70mに及ぶ墳丘、南側埋葬施設の痕跡、多様な出土品が少しずつ明らかになりました。

2021年に国史跡の指定を受け、2026年に保存活用計画

を策定しましたが、墳形や北側石室の床面の大部分、南側埋葬施設の構造など、なお多くの謎が残されています。

本展では、條ウル神古墳と条池南・北古墳を資料から見比べ、これまでにわかったことと、史跡を未来へつなぐためにこれから確かめるべきことを紹介します。

條に築かれた三つの古墳

条池南古墳



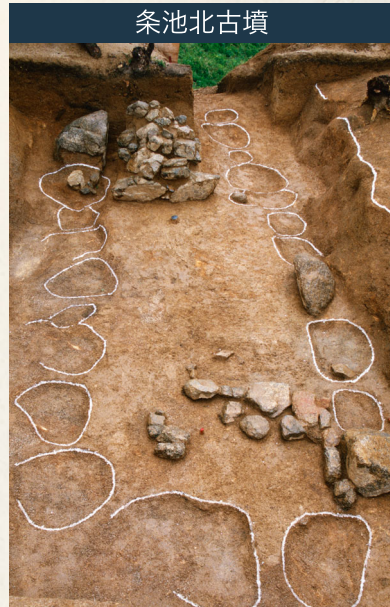
條ウル神古墳の南西に位置し、白色凝灰岩製家形石棺をもつ横穴式石室墳

條ウル神古墳



巨大な横穴式石室と白色凝灰岩製の家形石棺をもつ、本展の中心となる古墳

条池北古墳



条池南古墳の北に隣接する横穴式石室墳で、南古墳と一体の古墳と考える説もある

関連シンポジウム

定員200名・参加無料・要申込

日時 2026年12月26日(土) 13時～16時(開場12時30分)

会場 アザレアホール1階 文化ホール(御所市13番地)
※展示会場とは異なります

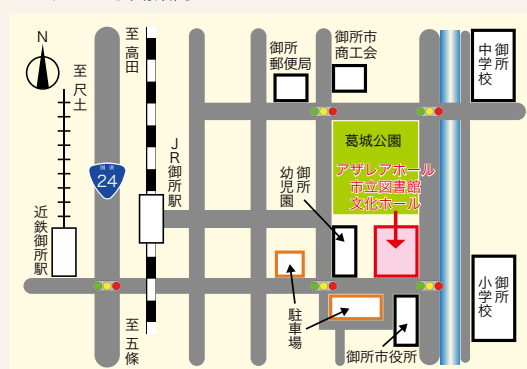
基調講演 「横穴式石室から見た條ウル神古墳の評価」
太田 宏明(河内長野市教育委員会・秋津地区史跡等調査整備審議会 委員)

パネルディスカッション

「條ウル神古墳のこれからを考える」

登壇者: 太田宏明・木許守・田中晋作・萬谷喜一・三村衛 進行: 金澤雄太
(秋津地区史跡等調査整備審議会 委員) (市文化財課)

シンポジウム会場案内



申込方法 申込期間 11月14日(土)～12月5日(土)

往復はがき

「シンポジウム申込(12/26)」と記載し、氏名(フリガナ)、郵便番号、住所、電話番号を記入して、【御所市文化財課】までご送付ください(消印有効)。

インターネット

URL (<https://www.city.gose.nara.jp/0000004750.html>)、もしくはQRコードよりお申込みください。

企画展会場アクセス



▶電車: 近鉄御所駅下車。奈良交通バス五條方面行き、バスまたはコミュニティバス西コースへ乗車
●奈良交通バス 宮戸橋バス停から徒歩5分
●コミュニティバス 室バス停から徒歩5分

▶自動車: ●京奈和自動車道御所南ICから国道309号線経由、西へ1.2km
●国道24号線室交差点から南東へ約100m
●駐車場あり(10台程度)

御所市文化財展示室 TEL 0745-60-1608
〒639-2277 奈良県御所市室102番地 FAX 0745-62-9872



文化財課HP



文化財課Instagram